

子どもたちのために、今取り掛からねば

時間がかかる空港建設、今テイクオフ

福岡空港の滑走路容量はもはやぎりぎりの状態まできています。2007年は年間14.2万回。2005年からの3年間で年間の発着回数は5万回増えました。現空港の滑走路処理能力は年間14.5万回。この1～2年でオーバーすることが目に見えています。

空港の整備には長い時間がかかります。現空港の拡張案でさえ、工事期間を約7年と見込んでいます。用地買収や埋蔵文化財があった場合の調査期間は含まれていません。新空港建設の場合は工期が約9年と見込まれます。一刻も早く取り掛からねば慢性的な遅延によって、福岡の発展が阻害されることになります。

空港建設は、今というより未来に向けての社会基盤の整備です。子どもたちのためにどうすることが一番いい方法なのか。容量にゆとりが持てて、膨らむ地代や環境対策費を延々と支払い続けなくていようしておくことこそ、私たちの責務ではないでしょうか。洋上に新福岡空港を建設することが望ましい方法だと確信します。

未来への滑走路 『新福岡空港実現に向けて』

発行

新福岡空港促進協議会

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号 電気ビル北館9F
TEL092(737)6661 FAX092(737)6662
E-mail:newf_airport@tkz.bbq.jp

※新福岡空港に関するご意見をお寄せください。